



イワジ産業株式会社

証券コード2924

第44期 **株主通信**

平成27年4月1日～平成28年3月31日

意思
ある
卵。

株主の皆様へ



代表取締役社長
藤井 宗徳

株主の皆様方には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の熊本地震により、被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。

ここに、当社第44期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

■当期の概況

食品業界におきましては、原料価格の高騰や消費税の増税の影響等により商品の値上げが続いており、消費者の生活防衛意識が強まりつつあります。

このような状況の中、当社グループの連結の業績につきましては、売上高は前期比10.3%増の14,478百万円、経常利益は同25.1%増の665百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同12.1%増の434百万円となり2期連続で増収増益となりました。

鶏卵関連事業におきましては、前期と比較いたしますと鶏卵相場が高く推移したことや販売数量が3.4%増加し過去最高となったこと、価格の改定を行ったこと等により、売上高は過去最高となる13,261百万円となり、その結果利益につきましては24.2%増の551百万円となりました。

また調味料関連事業におきましては、ブレンドラインのリニューアルによる新規顧客の獲得や輸入粉卵の加工等により売上高は前期より12.5%増の1,289百万円となりました。



■次期の見通し

次期の見通しにつきまして、鶏卵関連事業におきましては過去最高となった当期の販売数量を上回るべく、お客様に適した商品やサービスを高い品質にて提供してまいります。

購買面におきましては需給調整を柱とし、仕入先の更なる拡大や原料定期仕入比率の向上、適切な備蓄量の確保を行い、安定供給責任を果たしてまいります。

製造面におきましては、お客様により安心な製品を安定供給するために関東工場の増設を進めております。平成28年内の稼働を予定しており、現行の約1.5倍となる年間30,000tの生産が可能となります。

調味料関連事業につきましては、即席めん・ふりかけ・スナック菓子への提案を強化し、販路拡大に努力してまいります。また、生産面におきましては設備更新・生産ラインの見直し・多能工化等により、より安心な製品を効率よく製造してまいります。

株主の皆様におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

▶▶ 関東工場 増設工事（2期工事）を行っております



※写真は1期工事の様子

主力工場である関東工場の増設を進めております。

1期工事では建物の増設（増築面積3,283㎡）を行いました。

2期工事では最新鋭の割卵機や貯蔵タンク、新たな製造ラインの設置を予定しており、現行の約1.5倍となる年間30,000tの製造が可能になります。

平成28年内の稼働を予定しております。

3



Business Outline

作業効率

割卵の手間が省け
効率的・衛生的。

品質の安定性

バラツキが少なく
製品の均質化が可能。

経済性

鶏卵相場変動による
原料費の不安定さの抑制。

液卵使用の メリット

貯蔵性

凍結状態であれば
1～2年の保管が可能。

作業環境

殻付卵に比べ保管
スペース3分の1。
卵殻からの二次
汚染防止。

当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「凍結卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と呼ばれております。

「凍結卵」…液卵を冷凍し、保存性を高めたものです。

液卵・凍結卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵 調整全卵	殺菌 殺菌	生・凍結 生・凍結	ケーキ、洋菓子 パン、ビスケット、クッキー
卵黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

4

商品ラインナップ

〈ペール缶・一斗缶〉



液卵



ホール



卵黄



全卵



卵白



凍結卵

〈箱・紙パック〉



凍結全卵（殺菌）



凍結20%加糖卵黄（殺菌）



凍結製菓用卵白（未殺菌）



凍結製菓用卵白（殺菌）
PCW-00



凍結茶わん蒸しベース（殺菌）



凍結濃縮茶わん蒸しベース（殺菌）

5

ニーズに応える安定供給

三位一体の供給体制

製造

安定品質を確保
HACCPに準拠した工程管理
最新鋭設備導入

購買

独自の購買体制を構築
需給調整機能
安定買い付け

流通

全国配送を実現
全国4工場のネットワークで万全の配送体制



名古屋事業部



関東事業部



関西事業部



福岡事業部

グループ会社：日本化工食品㈱
調味料関連事業の柱として、当社
と共に成長



日本化工食品㈱千葉工場

6

液卵の生産工程

生産工程

変わらぬ志を、先端技術と最新設備でカタチにしています。

設立以来、当社は常に最先端技術に裏打ちされた最新鋭設備の拡充に努めてきました。新型割卵機、殺菌機、オートフィルター等々…。原料入荷から出荷まで、一分の隙もない品質管理体制をつくりあげています。

原料入荷から割卵・殺菌、出荷までの製造工程

原料検査



原料入荷

入荷された原料の品質を管理するために、卵重・卵白高・卵黄色の測定を行い、その後生産管理システムへ入力します。



冷蔵保管

全国の契約農家から新鮮な卵を入荷。適温とされる8℃以下で保管されます。原料の品質や用途を考慮して鶏卵の先入先出を徹底しています。

温度管理



割卵・分離

高速割卵機を導入し、作業の省略化、迅速化を実現しています。また、新型割卵機では卵黄と卵白を分離する場合、スキャナにより自動制御されます。



生産管理システム

いつ、どこから持ち込まれた原料を何時に割卵したかを記録するために、割卵時に荷受票よりデータを生産管理システムに取り込みます。



投入

卵殻に付着している様々な雑菌を消毒するために消毒液の中に原料卵を投入し、洗浄します。



ろ過

割卵作業中に混入した卵殻の小片などは、ろ過器によって除去されます。

殺菌前検査



殺菌

1時間あたり1,000～6,000Lの殺菌能力をもつ連続式殺菌機を導入。低温殺菌で卵の品質を落とすことなく安全で均一な液卵が製造できます。

殺菌後検査



貯蔵

殺菌を終えた液卵は、それぞれ所定の貯蔵タンクに貯蔵。製品が空気に触れないクローズドシステムと呼ばれる方式を採用し、菌の混入を防いでいます。



出荷

輸送される液卵・凍結卵は細菌の混入を防ぐために、厳重な衛生・温度管理のもと、お客様へ届けられます。



冷蔵保管

完成した液卵・凍結卵は、専用の容器に詰められ、すぐに製品冷蔵庫へ移されます。

製品検査



充填

最新鋭の充填機によりすばやく正確に充填計量され、ヒートシールによって密封されます。



1時間あたり3,000本の充填能力をもつバック充填機で、すばやく正確に充填計量され、完全シールにより密封されます。

決算ハイライト

決算書を読む3つのポイント

		H26.3		H27.3		H28.3	
		単体	連結	単体	連結	単体	連結
販売数量	t	45,778	-	45,846	-	47,397	-
売上高	百万円	11,484	12,650	11,971	13,130	13,278	14,478
営業利益	百万円	231	337	450	517	558	642
経常利益	百万円	265	365	531	531	607	665
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	-	235	-	388	-	434
1株当たり当期純利益	円	19.23	28.30	42.80	46.58	46.99	52.21
1株当たり配当金	円	-	16	-	11	-	15
配当性向	%	-	56.5	-	23.6	-	28.7

販売数量と売上高

「販売数量」「売上高」ともに過去最高となりました。

当社の売上高は鶏卵相場によって変動します。よって当社の業績判断としましては「販売数量」を併せてご覧ください。

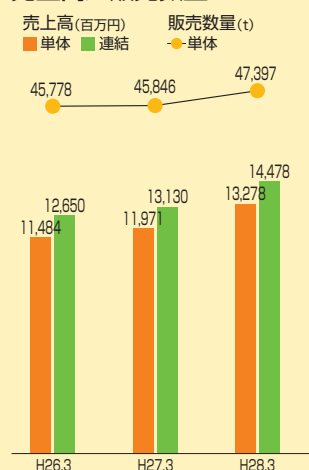
親会社株主に帰属する当期純利益 (対前期比要因)

鶏卵関連事業、調味料関連事業ともに販売が好調だったことが寄与しました。

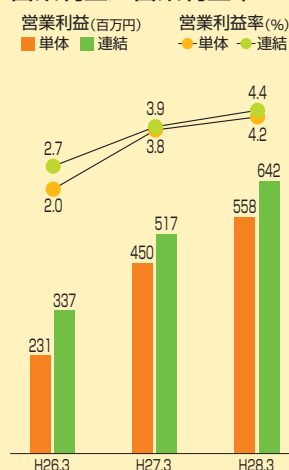
利益還元

当社は配当性向を25%~30%を目標に利益の還元を行ってまいります。尚、平成28年3月期につきましては1株当たり15円とさせていただきます。

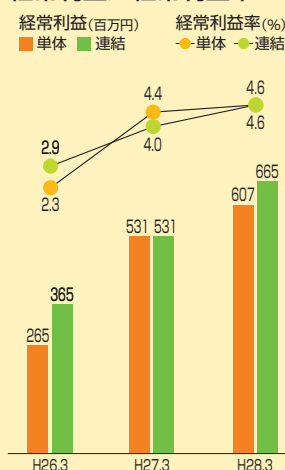
売上高／販売数量



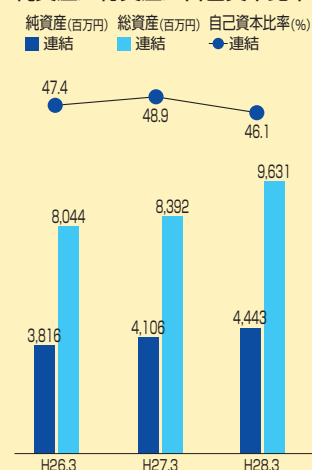
営業利益／営業利益率



経常利益／経常利益率



純資産／総資産／自己資本比率



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成27年3月31日現在)	当期末 (平成28年3月31日現在)	科 目	前期末 (平成27年3月31日現在)	当期末 (平成28年3月31日現在)
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	4,314	5,133	流動負債	2,761	3,095
現金及び預金	1,633	1,948	固定負債	1,524	2,092
受取手形及び売掛金	1,821	2,057	負債合計	4,286	5,187
その他	860	1,128	【純資産の部】		
固定資産	4,077	4,497	株主資本		
有形固定資産	3,939	4,355	資本金	455	455
無形固定資産	34	28	資本剰余金	366	366
投資その他の資産	103	113	利益剰余金	3,270	3,597
資産合計	8,392	9,631	自己株式	△5	△6
			その他の包括利益累計額	19	30
			その他有価証券評価差額金	19	30
			純資産合計	4,106	4,443
			負債純資産合計	8,392	9,631

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

11

連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	前期 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)	当期 (平成27年4月1日～ 平成28年3月31日)
売上高	13,130	14,478
売上原価	11,088	12,251
売上総利益	2,042	2,226
販売費及び一般管理費	1,525	1,584
営業利益	517	642
営業外収益	34	42
営業外費用	19	19
経常利益	531	665
特別利益	298	10
特別損失	5	0
税金等調整前当期純利益	824	675
法人税、住民税及び事業税	272	248
法人税等調整額	164	△8
親会社株主に帰属する当期純利益	388	434

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

配当について

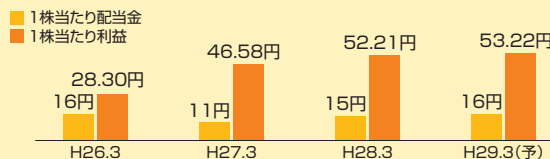
当社グループは、株主の皆様に対する適切な利益還元を重要な経営課題としており、またシェア及び収益向上を図るための生産設備、研究開発等への投資が必要と考えております。

株主の皆様に対する利益還元策としては、今後の事業展開等を勘案し、連結ベースで配当性向25～30%を目標としております。

平成29年3月期の配当につきましては、1円増配となる1株当たり16円(中間8円、期末8円)を予定しております。

	H26.3 (連結)	H27.3 (連結)	H28.3 (連結)	H29.3 (予定)
1株当たり配当金(円)	16	11	15	16
1株当たり利益(円)	28.30	46.58	52.21	53.22
配当性向(%)	56.5	23.6	28.7	30.1
配当利回り(%)※	3.2	2.0	3.0	—

※配当利回りは、権利付き最終日の終値で算出した数値。



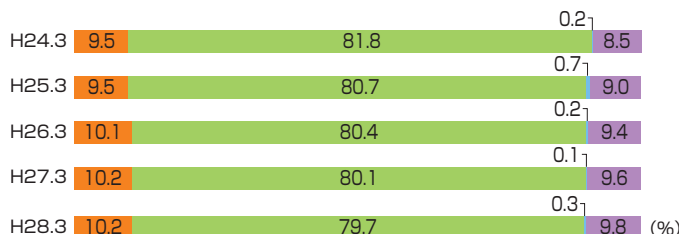
12



株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,792,000株
 発行済株式の総数 8,345,370株
 株主数 6,016名
 所有者別分布状況

	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3
	千株	千株	千株	千株	千株
■ 金融機関	528	528	839	853	850
■ 個人	4,549	4,492	6,708	6,683	6,654
■ 外国法人・外国人	13	42	15	7	23
■ その他法人等	474	502	783	802	817



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力を願っています。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 2924

いいかぶ

空メールによりURL自動返信
 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
 抽選で薄謝(図書カード500円)
 を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com



会社概要 (平成28年3月31日現在)

商号 イフジ産業株式会社
 (英訳名: Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
 設立年月日 昭和47年10月3日
 資本金 4億5,585万円
 本社所在地 〒811-2318
 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号
 TEL 092-938-4561 (代)
 従業員数 105名 (臨時従業員は除く。)
 事業部 福岡事業部 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号
 TEL 092-938-4561
 関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合敷3-1
 TEL 0774-99-4801
 名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町一丁目8番7号
 TEL 0566-72-1611
 関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17
 TEL 029-248-2311
 グループ会社 日本化工食品株式会社

役員 取締役会長 藤 井 徳 夫
 代表取締役社長 藤 井 徳 夫
 常務取締役 藤 井 徳 夫
 取締役 藤 井 徳 夫
 取締役 藤 井 徳 夫
 取締役(社外) 藤 井 徳 夫
 取締役(社外) 藤 井 徳 夫
 常勤監査役(社外) 藤 井 徳 夫
 監査役(社外) 藤 井 徳 夫
 監査役(社外) 藤 井 徳 夫
 藤 井 徳 夫
 井 井 田 本
 徳 宗 賢 次
 夫 徳 郎 勇 敬 文 孝 幸 郎 志 浩
 正 正 正 哲 隆 善
 (平成28年6月28日現在)

◆ホームページのご案内

決算の詳しい情報は当社ホームページでご覧いただけます。またイフジ産業がわかる動画も配信しています。ぜひご覧ください。



<http://www.ifuji.co.jp> ▲動画TOP画面

株主ご優待について

- 贈呈基準** 毎年9月30日、3月31日現在の株主様に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年2回、以下の基準により贈呈いたします。
- 株式数100株以上1,000株未満
一律300円(100円券×3枚)
- 株式数1,000株以上
一律1,200円(100円券×12枚)
- 利用方法** 全国の主な百貨店およびスーパー等で卵の購入の際に利用できます。
- 有効期限** 発行日から5年
- 取扱店舗** 全国の主な百貨店およびスーパー等(詳しくは同封する書類に記載)



●株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月下旬
- 基準日** 毎年3月31日
- 定時株主総会** 毎年3月31日
- 期末配当** 毎年9月30日
- 中間配当** 毎年9月30日
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先** 〒168-0063
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っております。
- 公告掲載方法** 電子公告により当社ホームページ (<http://www.ifuji.co.jp>) に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。

●お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。